

## 採択拠点の拠点形成概要及び採択理由

【分野名：社会科学】

大 学 名	神戸大学	整理番号	I - 3
拠点のプログラム名称	先端ビジネスシステムの研究開発教育拠点		
中核となる専攻等名	経営学研究科現代経営学専攻		
事業推進担当者	(リダー) 加護野 忠男 外16名		
<p>( 拠点形成の概要 )</p> <p>日本企業は、銀行中心の企業統治(コーポレートガバナンス)制度、長期継続的な企業間取引制度、地域特性に合致した事業創造・伝承制度など、独特のビジネス・システム( B S )を生み出し、国際競争力を高めてきた。ところが、国境を越える資金移動の活発化に伴う金融市場からの圧力の上昇やIT技術の発達に伴うBS間競争の激化が、日本的な企業統治制度や旧来型のBSの革新を迫っている。本研究拠点を中心とする神戸大学経営学研究科は、旧制神戸高等商業学校以来の伝統を持ち、実践的な学問である経営学研究をリードしてきた。本研究拠点では、過去の研究実績の上に、国内研究教育拠点の拡張や海外の研究拠点の設置による国際的な視野での日本型BSの研究を通じて、先端的日本型BSの確立を図るものである。そして拠点の充実によって、研究と教育を相乗的に発展させるという、欧米のビジネススクールにはない「神戸方式」による、次代の経営学の研究と教育を担う若手研究者の養成、さらには、激変する競争環境下において、日本企業のダイナミズムの再構築に貢献するものである。</p>			
<p>( 採択理由 )</p> <p>わが国の多くの企業の国際競争力を高めてきたビジネスシステムの中にわが国独特のものがあるという仮説に立ち、それを体系化しようとするものである。今まで米国発の理論を中心として成り立ってきたわが国の経営学の中で、世界に誇れる神戸発の経営理論を開発・発信し、同時に日本企業ダイナミズム復活にも貢献しようという挑戦的な計画である。名称が「先端ビジネスシステムの研究教育」と極めて広範囲を対象とすることになるが、評価の高い研究実績を持つ拠点リーダーのリーダーシップとそれぞれ異なる分野で実績をあげている事業推進担当者達のチームワークが世界から注目される成果を生みだし、世界的研究教育拠点が形成されることを望む。</p>			